

# 令和七年度 定時総会

令和七年五月二十九日(木)、定時総会が開催され、議案事項は全て承認されました。

## 令和7年度定時総会挨拶



理事長  
竹野 成記

竹野理事長は、総会の開会にあたり、会員並びにご来賓に総会への出席と平素のご支援に謝意を表し、次のように挨拶をしました。

昨年度を振り返りますと、会員数は1,318名から1,326名へと増加しました。女性会員は前年度より5名上回りましたが男性女性の比率は2対1のままです。

また、契約高も871百万円から902百万円へと皆様のご努力で大きく成長を遂げましたが、インボイス制度や物価高の影響等により、昨年度決算は、約700万円弱の損失を出してしまいました。



議長

会員の平均年齢は75.4歳と高齢化が進む中、熱心にご活躍頂いてはおりますが、皆様の健康面が危惧されることです。

また、安全就業のバロメーターである事故件数は38件から35件へと減少しましたが、依然として高止まりしている状況です。

さらに、各地域における活動ですが、特定の方が長年にわたり役職を続けざるを得ない状況が散見されます。地域の活性化のためには、円滑な世代交代も考慮していくかねばなりません。

これらの成果や課題を踏まえ、今年度は、まず会員の拡大特に女

性会員の増加を図り、会員の負担軽減を目指します。

2番目に事故件数のさらなる減少を目指し、安全対策を強化します。そして、魅力ある組織作りと地域社会への貢献をさらに深める活動を推進します。

一方で、私達シルバーを取り巻く状況は、トランプ関税や物価高騰の影響による経済変動、次に、世界的な異常気象による環境変動、さらには、インボイス制度やフリーランス新法、デジタル化といった社会制度の変動が私たちの生活や活動に大きな影響や課題をもたらしております。

しかしながら、こうした大きな変化の中にあっても、私たちは「自主自立、共働共助」の基本理念を再確認し、会員、役員、職員が一丸となつて取り組むことが重要です。

この理念のもと、シルバー事業を通じて、生きがいづくり、健康維持、そして地域社会への貢献を目指してまいります。

特に、シルバー世代の皆様が持つ豊富な経験や知識を活かし、地域社会の活性化に寄与することは、私たち四日市市シルバー人材



センターの使命であり、誇りでもありません。

これから、楽しく、そして意欲的に活動を進めてまいります。

最後に、本日ご出席の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、私の開会にあつたの挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

